



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月14日

東

上場会社名 ダイト株式会社 上場取引所
コード番号 4577 URL <https://www.daitonet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 松森 浩士
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 大津賀 健史 TEL 076-421-5665
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年5月期第1四半期の連結業績(2026年6月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年5月期第1四半期	11,894	△8.6	712	△28.7	808	△23.2	700	0.6
2026年5月期第1四半期	13,011	2.6	998	17.6	1,052	7.1	696	12.8

(注) 包括利益 2027年5月期第1四半期 726百万円(7.7%) 2026年5月期第1四半期 674百万円(143.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	24.66	—
2026年5月期第1四半期	23.24	—

(参考) EBITDA 2027年5月期第1四半期 1,687百万円 2026年5月期第1四半期 2,041百万円

(注) 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA(営業利益+減価償却費)を開示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年5月期第1四半期	71,646	52,483	73.2
2026年5月期	73,291	52,938	72.2

(参考) 自己資本 2027年5月期第1四半期 52,417百万円 2026年5月期 52,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2027年5月期	—	—	—	—	—
2027年5月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	54,000	6.6	4,000	10.0	4,000	4.9	3,000	△5.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 2027年5月期(予想) 8,400百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年5月期1Q	28,854,880株	2026年5月期	28,854,880株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	595,058株	2026年5月期	111,058株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年5月期1Q	28,421,155株	2026年5月期1Q	29,986,053株

(注) 当社は、株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(期末自己株式数94,340株、期中平均株式数94,340株)を期末自己株式数および期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、中東情勢の影響や資源価格の上昇など不透明要因がみられたものの、企業収益の改善や雇用・所得環境の底堅い推移を背景に、緩やかな回復基調が続きました。個人消費は物価上昇の影響を受けながらも、高額商品の販売が堅調に推移するなど底堅さがみられ、設備投資についてもデジタル化やAI関連需要の拡大を背景に持ち直しの動きが続きました。一方で、原油価格や原材料価格の高止まり、為替相場の変動、地政学リスクの高まりなどにより、先行きの経済環境は依然として不透明な状況が続いております。また、物価上昇圧力が継続する中、日本銀行は金融政策の正常化を進めており、今後の金融市場や景気動向への影響を注視する必要があります。

医薬品業界におきましては、2024年9月の社会保障審議会医療保険部会において、「安定供給の確保を基本として、後発医薬品を適切に使用していくためのロードマップ」が策定され、「主目標：医薬品の安定的な供給を基本としつつ、後発医薬品の数量シェアを2029年度末までに全ての都道府県で80%以上」、「副次目標：後発医薬品の金額シェアを2029年度末までに65%以上」が掲げられております。また、「経済財政運営と改革の基本方針2026（骨太の方針2026）」においても、後発医薬品の安定供給体制強化や産業構造改革の推進が示されており、後発医薬品製造基盤整備基金を活用した生産能力の増強、設備更新および品質保証体制の強化に向けた取り組みが進められております。さらに、社会保障制度改革の一環として医薬品に係る各種制度見直しが進められており、2026年6月からは長期収載品に係る選定療養制度の対象拡大が実施されたほか、同年10月以降に新規収載されるオーソライズド・ジェネリック（AG）には先発品と同額の薬価が適用されることとなりました。また、一部のOTC類似薬については2027年3月より患者負担が導入される予定であり、医療保険制度の持続可能性確保に向けた政策対応が進められております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「Daito Transformation Plan 2027」のもと、患者様及び医療関係者様の皆様への高品質な医薬品の安定供給に努めて参りました。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、一般医薬品向けの鎮咳剤やジェネリック医薬品向けの消炎鎮痛剤の販売が減少し、売上高は5,367百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

製剤では、受託製造（医療用）の製品は増加しましたが、ジェネリック医薬品及び一般用医薬品の製品が減少したことから、売上高は6,496百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

健康食品他につきましては、売上高は30百万円(前年同期比38.9%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,894百万円(前年同期比8.6%減)となりました。売上高の減少に加え、棚卸資産の評価減の増加、円安を要因とした原材料費の上昇などから営業利益は712百万円(前年同期比28.7%減)、経常利益808百万円(前年同期比23.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益700百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,645百万円減少し、71,646百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品の増加790百万円、仕掛品の増加1,227百万円があった一方で、電子記録債権の減少1,195百万円、売掛金の減少2,155百万円、建物及び構築物（純額）の減少399百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より1,189百万円減少し、19,162百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加772百万円などがあった一方で、長期借入金の減少653百万円、未払法人税等の減少493百万円、未払金の減少439百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より455百万円減少し、52,483百万円となりました。これは主に、自己株式の増加605百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より1.0ポイント上昇し、73.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年5月期(2026年6月1日～2027年5月31日)の通期連結業績予想につきましては、2026年7月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954	1,687
受取手形	0	—
電子記録債権	6,134	4,938
売掛金	12,792	10,636
商品及び製品	5,949	5,748
仕掛品	5,306	6,533
原材料及び貯蔵品	5,184	5,975
その他	309	355
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	36,629	35,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,991	18,591
機械装置及び運搬具（純額）	5,054	4,744
土地	2,294	2,294
リース資産（純額）	2,574	2,480
建設仮勘定	718	808
その他（純額）	1,043	960
有形固定資産合計	30,676	29,879
無形固定資産		
その他	1,712	1,675
無形固定資産合計	1,712	1,675
投資その他の資産		
投資有価証券	2,193	2,270
繰延税金資産	181	—
退職給付に係る資産	554	560
その他	1,353	1,394
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,273	4,216
固定資産合計	36,661	35,771
資産合計	73,291	71,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,230	6,003
電子記録債務	2,187	2,296
1年内返済予定の長期借入金	2,815	2,744
リース債務	506	509
未払法人税等	593	100
賞与引当金	678	379
未払金	1,256	817
未払費用	506	421
その他	222	307
流動負債合計	13,998	13,580
固定負債		
長期借入金	3,753	3,100
リース債務	2,220	2,092
繰延税金負債	65	69
役員株式給付引当金	55	59
退職給付に係る負債	33	35
その他	224	225
固定負債合計	6,353	5,582
負債合計	20,352	19,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	7,072	7,072
利益剰余金	36,970	37,094
自己株式	△128	△733
株主資本合計	51,101	50,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	880	936
為替換算調整勘定	539	581
退職給付に係る調整累計額	371	278
その他の包括利益累計額合計	1,791	1,797
非支配株主持分	46	65
純資産合計	52,938	52,483
負債純資産合計	73,291	71,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
売上高	13,011	11,894
売上原価	10,453	9,701
売上総利益	2,557	2,192
販売費及び一般管理費	1,558	1,480
営業利益	998	712
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	32	37
受取保険金	76	—
為替差益	—	44
持分法による投資利益	18	33
その他	4	22
営業外収益合計	132	139
営業外費用		
支払利息	30	30
支払手数料	5	8
為替差損	40	—
その他	1	3
営業外費用合計	77	42
経常利益	1,052	808
特別利益		
補助金収入	—	96
投資有価証券売却益	32	145
特別利益合計	32	241
特別損失		
固定資産除却損	31	0
固定資産圧縮損	—	86
特別損失合計	31	86
税金等調整前四半期純利益	1,054	964
法人税、住民税及び事業税	221	47
法人税等調整額	155	198
法人税等合計	377	245
四半期純利益	676	718
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	696	700

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益	676	718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	56
為替換算調整勘定	△4	5
退職給付に係る調整額	△38	△92
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	38
その他の包括利益合計	△2	7
四半期包括利益	674	726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	696	706
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	1,042百万円	975百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。